

古川元久内閣府特命担当大臣と三重県経済団体との意見交換会を開催

三重県商工会議所連合会（会長：竹林 武一）は、11月19日（土）ホテルグリーンパーク津で、古川元久内閣府特命担当大臣と三重県経済団体との意見交換会を開催しました。

当日は、芝 博一参議院議員、金森 正衆議院議員にもご臨席賜り、当連合会からは竹林会長、西村副会長、経済団体からは伊藤三重県商工会連合会副会長、佐々木三重県商工会連合会専務理事、黄瀬三重県中小企業団体中央会副会長、佐藤三重県経営者協会副会長、松田三重県経営者協会理事会議長が出席、それぞれ発言を行い古川大臣と意見交換しました。

竹林会長は挨拶の中で「我国の経済は、円高、株安、長引くデフレによる停滞による地域経済の疲弊が懸念されており、また東日本大震災や台風12号など度重なる危機に直面しています。当連合会も会員企業への様々なサービスに取り組むとともに関係機関と連携しながら行政機関等への提言活動を行うなど役割を果たしていきたい」と述べました。

古川大臣からは、「円高が進んでいる要因は海外にあり、円が強いというより欧州の金融不安などユーロが弱くなっている。今後の日本経済の活性化のためには、世界的視点と地域経営の視点から両方から見た総合的な施策を講ずる必要がある。本日のご意見を参考に今後の施策に活かしていきたい」と述べられました。



▲竹林武一当連合会会長の挨拶



▲古川元久大臣の挨拶



▲意見交換される古川元久大臣



▲意見を述べる西村憲一当連合会副会長